昭和館

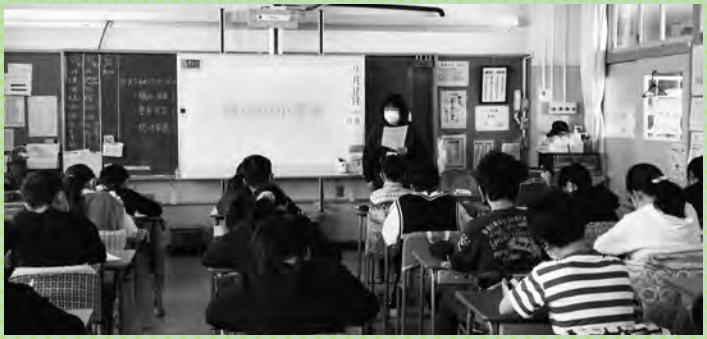
「次世代の語り部」講話派遣

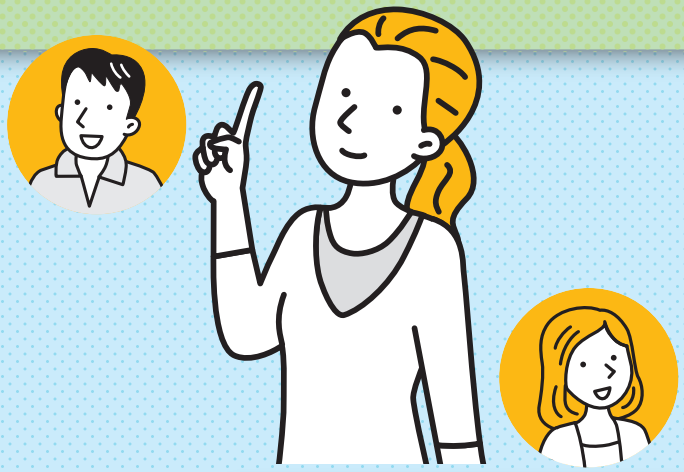
～学校の授業や団体の催しなどに語り部を派遣します～

「次世代の語り部」とは?

戦後75年以上が経過し、戦争体験者も高齢化し、戦中・戦後の労苦を聞く機会が減ってきています。

昭和館「次世代の語り部」は戦後生まれで戦争の体験はありませんが、当時の人々のくらしや労苦を学び語り継いでいく活動をしています。





疎開先の井戸で手を洗う児童たち
昭和19年(1944)9月　埼玉県久喜市

国民学校での薙刀の練習
昭和18年(1943)9月～11月　富山県黒部市

講話の内容は?

- 戦争がはじまって、子どもの生活や学校の授業に影響はあったの?
- 地方へ集団疎開した子どもたちは、疎開先でどんな生活をしていたの?
- 戦地の兵士と家族はどうやって連絡をとっていたの?

など当時の人々のくらしを、社会情勢や時代背景とともにお話します。
1回の講話は30分程度です。

講話テーマは裏面のリストより選択してお申し込みください。

昭和館
URL https://www.showakan.go.jp

https://twitter.com/showakankudan　https://www.facebook.com/showakankudan/
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1　次世代の語り部事業TEL:03-3222-2574　FAX:03-5216-3152
メール:kataribe@showakan.go.jp

昭和館は、国民が経験した戦中・戦後の生活に係る歴史的資料や情報を収集、保存、展示して、国民生活上の労苦を次世代の人々に伝える国立の施設です

「次世代の語り部」講話テーマ

	テーマ	対　象
①	残された家族　～家族を戦争で失くした人たちの思い～	小学校5年生から一般
②	国策紙芝居で知る銃後の生活	小学校6年生から一般
③	戦争と動物　～戦争で犠牲になった動物たち～	小学校高学年から一般
④	聞こえない人と戦争	小学生から中学生
⑤	戦災孤児たちの願い　～もしも魔法が使えたら～	小学校6年生から中学生
⑥	戦中の小学生	小学校高学年から中学生
⑦	沖縄の光と影　～今を支える戦争の記憶～	小学校高学年から中学生
⑧	学校生活と子どもたち(戦前・戦中編)	小学校6年生から中高生
⑨	少女の戦中・戦後のくらし　島本京子さんの体験から	小学校6年生から中学生
⑩	戦時下の中学生　～学校生活と学徒勤労動員～	小学校6年生から一般
⑪	ぼくの家にも戦争があった	小学校中学年から中学生
⑫	軍国少年の戦中・戦後　～終戦時13歳の今吉孝夫さんの体験を中心として～	小学校高学年・中学生から一般
⑬	学童疎開　－戦時下の親元を離れての集団生活－	小学校高学年
⑭	戦中の子どもの学校生活　～昭和8年生まれの子どもたち～	小学校高学年
⑮	空白の3年8か月　～天気予報と戦争～	中学生から一般
⑯	軍事郵便を聞く	中学生から一般
⑰	戦争と学生	高校生から一般
⑱	熱田空襲下の学徒動員体験記　～航空機製造へ舵を切った愛知時計電機～	大学生から一般
⑲	フミちゃんと沖縄戦　－それでも私は生きる－	大学生・一般
⑳	白米が憧れだった頃　－戦中・戦後の人びとの米への強い想い－	一般

◆1回の講話は30分程度です
◆機器の準備やあいさつなども含め、1時間弱(小学校の授業なら1時限分45分)を見込んでご準備ください

<講話派遣の申込にあたっての注意事項>

○講話は、スライド資料をプロジェクターで投影しながら行います。必要な機器(机、椅子、マイク、パワーポイントが使用できるパソコン、プロジェクター、投影用スクリーン、接続用ケーブルなど)は、申込者でご準備ください。
○語り部への謝金は不要です。交通費は昭和館で負担しますが、会場が遠方の場合にはご負担をお願いする場合があります。
○会場に昭和館を希望される場合は語り部事業担当までお問い合わせください。

●定期講話会のご案内　毎月第1日曜日に語り部による「定期講話会」を開催しています。
詳しくは昭和館ホームページ・SNSをご確認ください。

「次世代の語り部」講話派遣のお申し込みは!

昭和館ホームページ≪「次世代の語り部」講話≫より申込書をダウンロードし、
必要事項をご記入の上、メールまたは、FAXでお申込みください。

■お問い合わせ先
昭和館 次世代の語り部事業 TEL：03-3222-2574　FAX：03-5216-3152
メール：kataribe@showakan.go.jp

昭和館　語り部